



杉谷ひろば

1月号
No. 35

杉谷さんとともにまちを創る会
2014年 1月 1日発行

向日市寺戸町辰巳4-1-101号
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！

ホームページ : <http://sugi.pupu.jp/>

今年も皆さんとともに 平和と生活守るため全力！



杉谷伸夫・59才になりました
向日市議会議員・市民クラブ
上植野町イトーピア在住

昨年末、安倍首相は秘密保護法を強行制定したのに続き、A級戦犯を祀る靖国神社を電撃参拝しました。秘密保護法に対しては、「反対」「慎重」を求める国民の9割近くの声押し切り、靖国参拝では、中国・韓国はおろか、ロシア・EU（欧州共同体）そしてアメリカなど国際社会の反対を無視しました。強引な手法で周囲の反対を押し切ってまで、何をめざしているのか。今多くの国民からも国際社会からも、疑念が高まっています。

一方、秘密保護法は許さない！と首相官邸前に集まった数万人の中に、仕事帰りのサラリーマンや学校帰りの中高生など、多くの若者の姿がありました。若い人たちも自分たちの問題として声をあげ始めています。

今年は、情報隠し・原発再稼働・社会保障削減・平和憲法改悪とたたかう本当に大切な1年になります。向日市役所と議会を、市民が主人公となる改革の取り組みと合わせ、全力で取り組む決意です。皆さまのご意見、ご提案をぜひお聞かせ下さい。(12月30日・杉谷伸夫)

市民の皆さんの声

- 新しい年が、平和に何事もなければ良いですね。2014年も、ご活躍の一年でありますように期待しています。
- 2013年も一生懸命の活躍をありがとうございました。一人一人が考え考えして、行動に移していくより無いですね。私も微力ながら努力したいです。
- 巡回バスが走ることを楽しみにしています。どこの町か忘れましたが、1時間前に電話予約をしたら、高齢の方の足になるように家まで迎えに来て、帰るときも家まで送り届けているのをテレビで見ました。
- 巡回バスを走らせることができない理由を、ぜ

1月の催しのご案内

★1月11日(土) 午後3時～

杉谷さんとともにまちを創る会・新年会

- 杉谷ひろば(向陽幼稚園より東向日駅方面へ約100メートル、道路向かい側)
- 一品もちよりです！

ひ市長にお聞かせ願いたいと思います。

- 年末の報道特集で、東京ー大阪間に計画されているリニアモーターカーは、最大で原発一基分の電力を使うと言っていました。そのため新潟県の柏崎刈羽原発と結ぶ送電線の建設が予定されているとか。東京ー大阪間を1時間少し短縮するために原発を再稼働させてなるものかと思います。

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



12月議会報告 ①

市民から4つの請願も 2つは否決、1つは継続

市民の方から4つの請願が出されました。私は、すべての請願に賛成すると共に、次の2つの請願に賛成討論・意見表明をしました。

●向日市立第三保育所跡地に「女性センター」建設を願う請願 → 賛成8：反対11で否決

この請願は第三保育所跡地に、子育て支援と全年代にわたる女性の交流の両方を目的とした施設の建設を求めるものです。私たち市民クラブも、久嶋市長に対して来年度予算に要求しています。

本会議では、私を含め2名が賛成討論をおこない、反対討論は一人もないのに否決されてしまいましたが、売却については議員の多くも反対です。これまで市長は跡地について常に「売却も視野に入れて」と発言していますが、今後はこの言葉は外し、有効活用方針を早急に具体化することを求めます。



●市民のための議会への改革を求める請願 →（継続審査となりました）

市民本位の活発な議会への改革を願って、市民の方から率直な要求が出されました。市民が傍聴に行っても資料はもらえず、傍聴席から議員の姿も見えない議会の改革を求められたものです。

私の所属する総務文教常任委員会で審査され、私は「当然のご意見。現在進めている議会改革の論議に生かしたい」と賛成しました。ところがほとんど議論していないのに「継続審査」の動議が出され、私以外の賛成多数（5人）で議論は打ち切れ、継続審査となりました。

「議会改革については現在、議会で議論しているから」というのが理由のようです。でも市民からの提案に対しては、市民の前でしっかり意見を述べ、議論すべきだったと思います。

この請願については、1月22日に議会活性化特別委員会及び総務文教常任委員協議会が開かれ、協議することになりました（10時から）。

請願の審査結果（◎採択、×不採択、△継続）

- ×向日市の保育の充実を求める請願（賛9：反10）
- ◎私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願（全会一致で採択）
- ×向日市立第三保育所跡地に「女性センター」建設を願う請願（賛8：反11）
- △市民のための議会への改革を求める請願（継続）

12月議会報告 ②

「まちを美しくする条例」 賛否二分して可決成立

3年前に同名の条例案が、議会で否決されましたが、昨年12月に市民から「みんなでまちを美しくしようという理念条例を全会一致で作ってほしい」という請願が出され、採択されたことから今回、改めて条例案が提案されました。

条例案には罰則は設けず、美しいまちづくりのためにポイ捨て等をしない理念を定めるとともに、まちの美化の障害となる項目（①飼い犬のフン、②たばこの吸い殻、③空き缶等、④チラシ等宣伝物）を具体的にあげて規制しています。

問題となったのは、④チラシ等宣伝物について配布者に回収義務を課していることです。なぜならこの条項は、3年前に賛否が分かれて否決された時の大きな理由の1つだったからです。

案の定、「この条項を外せば全会一致で成立すると分かっているのに、なぜ賛否の割れる条項をわざわざ入れたのか」と議会は大紛糾し、請願者の「全会一致で制定を」の願いに反する結果となってしまいました（賛成11，反対8で可決）。「みんなでまちを美しくしよう」という条例案を、なぜ議員の半数近くが反対するような条項をわざわざ入れて提案したのでしょうか。しかも「宣伝物の回収義務」は、全国の他都市の条例には珍しい特異な条項です。また捨てた人でなく配布した人に責任を課するという異質の性格です。チラシのポイ捨てなどは、市長も認めているようにほとんど無いのに、なぜこだわったのでしょうか。

一方「全会一致で条例を作ります」と市民に約束したのは議会なので、全会一致で採択できる条例に修正できなかった、私たち議会にも責任があると思います。大変残念な結果になりました。



杉谷伸夫の活動報告

12月議会での 一般質問の報告

市内移動の為の公共交通は、向日市が全国で最も遅れた自治体になっているという認識が市長に全く無いことは、市民にとって大変不幸なことです。

2 原発事故から市民を守る施策は？ → 市「国の指針が来たら検討する」

今、原発再稼働に向けた準備が進められていますが、また事故が起こったらどうなるのか？この一番大切な問題を放置したまま再稼働を認めることはできません。市民の安全確保について、向日市の対策準備を伺いました。

これに対し、3月までに向日市の原子力防災計画を作成し市民に公表すると答弁。しかし、原発事故から市民を守るための対策は、国から指針が出てから検討するというのです。市民を守る具体策のない防災計画って、いったい何なのか？

この他、原発事故で琵琶湖が長期間高濃度に汚染されるという予測結果を滋賀県が公表したことに関連し、市民の飲み水・桂川の汚染予測はどうか、京都府にたずねることを市長に求めました。

3 生活保護改悪の悪影響は？ → 市「市民に影響波及しないよう対応」

昨年8月から実施された生活保護基準の引き下げにより、就学援助など他の低所得世帯への支援制度に影響が出ないように求めました。市からは、「来年度以降も、できる限りその影響が及ばない対応をするよう国から通知が出されている」との答弁がありました。

1 市内巡回バスの運行検討を早く！ → 市長に「責務」の自覚が無い

向日市のように狭くて人口密度の高い全国41の自治体を私が独自に調査したところ、そのほとんどがコミュニティバスや福祉バスを運行していました。何も走らせていないのは向日市を含む3市だけでした。高齢者や障がい者などに、市内移動のための公共交通を確保することは市長の責務です。長岡京市では、「公共交通に関する条例」を制定し明記しました。市民に対する市長の「責務」について見解を求め、一刻も早く具体策を進めるよう求めました。

ところが向日市長は、市内移動のための公共交通を確保することは行政の「施策の一つ」であると、自らの責任を認めません。また具体策についても「公共交通会議で検討してもらおう」と答えるのみ。



杉谷伸夫と「会」の1年の取組を振り返って

- 1月**：北野台開発に伴う1.5億円損失の原因と責任を明らかにせよ！・・・北野台裁判資料の情報公開を請求
- 3月**：予算審議で新年度事業に対し、原発に頼らない省エネ政策などを提案
- 4月**：近畿市民派議員交流学習会を長岡京駅前で開催・・・原発事故避難者支援、介護、幼児虐待問題について学習・交流
- 5月**：「子どもの声を社会へ」講演会・・・子どもの人権オンブズパーソンについて市民の皆さんと学ぶ
- 6月**：向日市議会で、原発事故の被災者支援施策の実現を求める国への意見書を全会一致で採択
- 7月**：向日市地域公共交通検討委員会が報告書と提言を提出・・・巡回バスはお預け
- 8月**：生活保護の前例の無い大幅な引き下げ強行される・・・9月議会で取り上げました。
- 9月**：向日市の公共施設の老朽化に対する大量更新計画を早急に立て、市民へ報告することを求める
- 10月**：市民クラブで来年度予算要求書を久嶋市長に提出。予算作成への市民意見の反映を求める。「福島原発事故避難者のお話を聞く会」を開催。避難者のかたがたと交流しました。
- 11月**：「TPPって何？」講演会。向日市まつりで「本当のフクシマ」写真展を皆さんと開催
「秘密保護法案を廃案に！」－杉谷伸夫が国会前行動に参加し、国会議員に要請
- 12月**：「巡回バスなど、高齢者や障がい者への交通支援策は市長の責務である」と向日市議会で追及





声 主権者は私たち

徳本茂孝

安倍内閣は政治の右傾化を加速させている。原発再稼働にむけたゴーサイン、同時に特定秘密保護法も成立させた。政権批判の国民と報道の口を縛ろうとする。これは戦前回帰の道との批判が強い。原発は開発から70年近くとなるが、一貫してウソと真相隠しを続けてきた。日本の原発はその最たるものであった。

昨年来、台湾の若者グループに招かれて訪台した。福島第一原発事故は当地でも衝撃的なニュースとして伝えられ、2013年3月9日には22万人の反原発大集会が催された。政権は、あまりの反響に原発4基の内1基を停止に追い込まれた。従来からこうした批判には新聞の発禁、逮捕という強権を発動してきた。この国でも日本同様の秘密保護法的なものがあり、この法の適用が根拠となる。しかし台湾の国民は黙っていなかった。国民の厳しい批判に政権は揺るぎ続けている。

どの国においても、主権者は私たち一人一人である。政治の選択はしっかりしよう。発言もそうだ。そうすれば日本に未来はある。憲法はそう述べていると思う。市民の皆さん方と連帯して声を上げてゆく一年にしたい。



声 議会の改革求め請願

安野洋子

松田嘉子さんと私が共同代表となって「市民のための議会への改革を求める請願」を議会に提出した。今後向日市のまちをより良くしていくために、市民の代表である議会の役割は重要であり、もっと市民が議会に行って議会でどんな議論がされているかを知ることが必要だと思ったからだ。



- ①傍聴している時、議員の姿が見えるようにモニターを付ける等改善してほしい
- ②傍聴者に一般質問の資料等を配布してほしい
- ③国会の予算委員会のように質疑を活発にほしい

でも、あまり議論もされないまま継続審議になった。がっかり。議員は市民から要求されるのは気に食わないらしい。自民党系も、共産党も賛成しない。

「議会のことは我々議員に任せておけばよい」というような体質の古さがあるのではないか。

実現するまで何回も請願し続けるぞと決意を強くした。

街
話
題

長岡京市

公共交通条例と 地域公共交通ビジョン

公共交通優先のまちづくり

長岡京市は、「車中心のまちづくりから公共交通中心のまちづくりへの転換を図り、誰もが移動しやすい良好な都市環境の形成に寄与すること」をめざし、昨年9月に「地域公共交通ビジョン」を策定し、今後10年間の目標を市民に発表しました。12月にはその推進のため、「公共交通に関する条例」を制定しました。

背景には、高齢化により移動困難な市民が増加していることと、一方で少子高齢化により通勤・

通学でのバス利用者が減少し、阪急の路線バスが大幅減便を余儀なくされている事情があります。

長岡京市では7年前から市内巡回の「はっぴいバス」を運行し、市民の足の確保を図ってきました。今回、更に地域の公共交通は事業者任せでなく、まちづくりの重要な課題として位置づけ、行政・市民みんなの努力で守っていこうとする方針を明らかにしたものです。ビジョンでは「新たな交通事業の導入と創出」がうたわれており、さっそく12月21日の西山天王山駅の開業に合わせて阪急バス・京阪バスに要請し、同駅と京阪淀駅をむすぶ路線バスの運行が開始されました。

向日市では巡回バスがいつまでたっても走らず、長岡京市との格差は広がる一方。「高齢者や障がい者などの公共の足を確保する」課題の解決は、待ったなしです！